

- (3) あきらさんは、次にふりこの長さに着目しました。ふりこの長さを短くすれば、ふりが1往復する時間は短くなると予想し、実験することにしました(図3)。<あきらさんの実験ノート>を参考にして、あきらさんになったつもりで下の実験ノートを完成させましょう。

<実験ノート>

課題

予想

実験方法

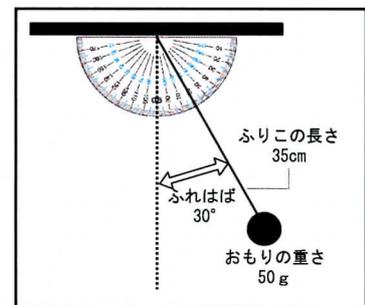
調べる条件

そろえる条件

結果

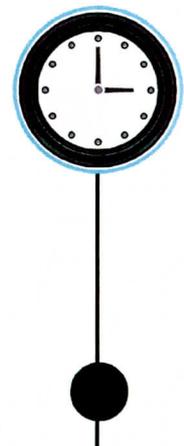
	1回目	2回目	3回目	平均
ふりが1往復した時間(秒)	1.3	1.2	1.2	1.2

分かったこと

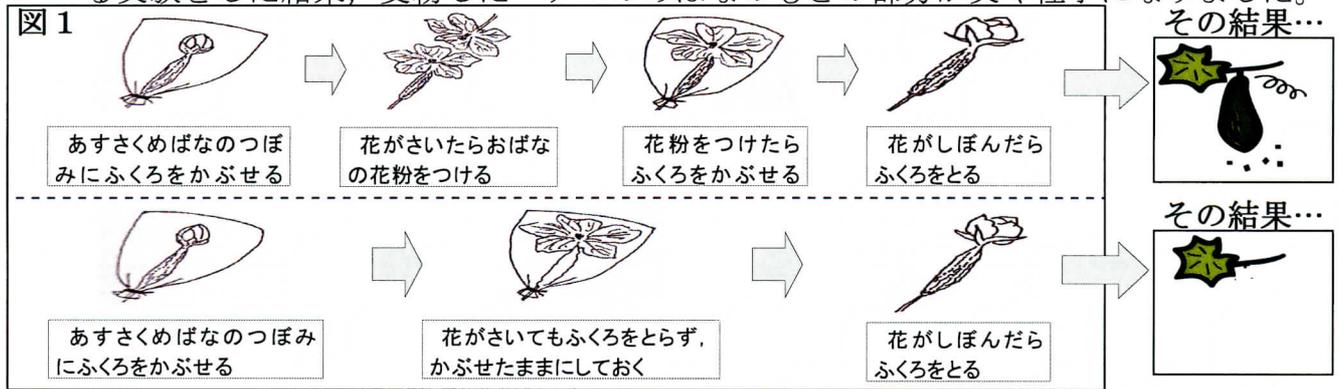


【図3】

- (4) あきらさんの家にあるふりこ時計の時こくは、おくれがちです。そこでおくれないようにふりこの部分を調節することにしました。どうやって調節するのか説明しましょう。

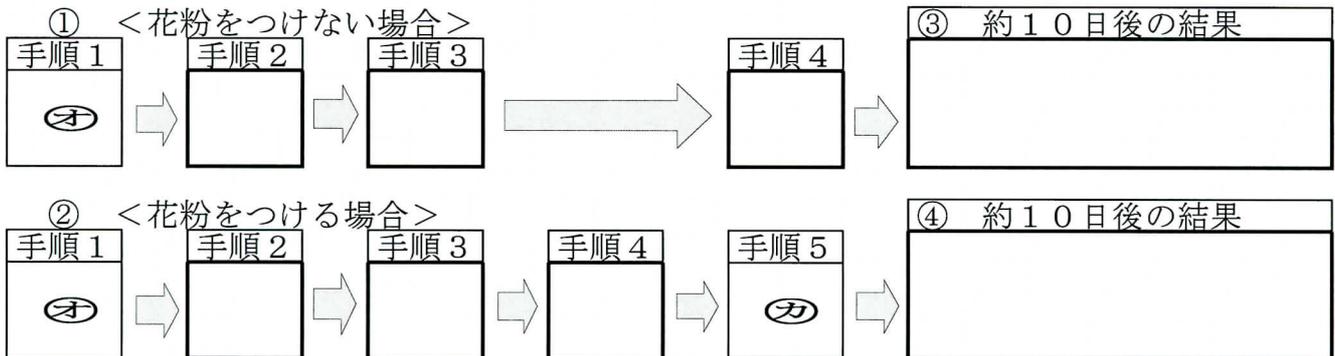
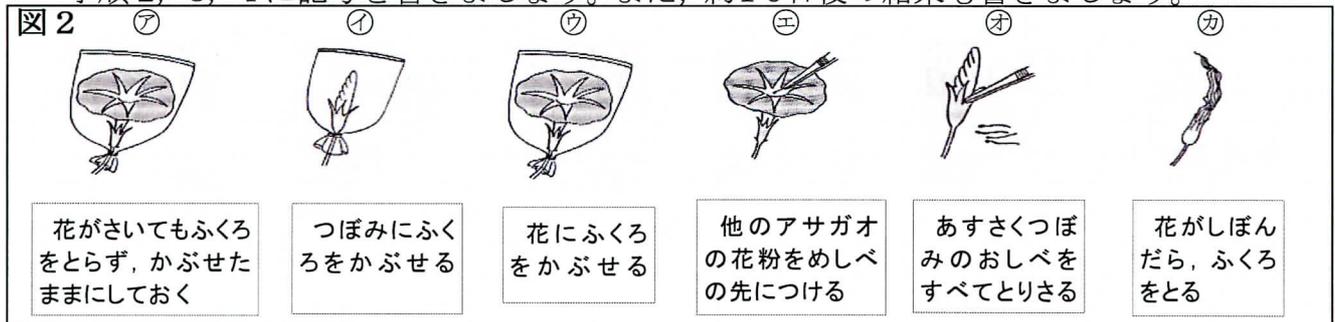


② たけ子さんの学級では、図1のように、畑に植えたへちまの花で花粉のはたらきを調べる実験をした結果、受粉したへちまのめばなのもとの部分が実や種子になりました。



今度は、アサガオの花を使って花粉のはたらきを調べる実験をします。

(1) 図2の中から、花粉をつける場合とつけない場合の手順を選んで実験方法を組み立て、手順2, 3, 4に記号を書きましょう。また、約10日後の結果も書きましょう。



(2) アサガオの実験の中で、明日さくつぼみのおしべをすべてとったり、つぼみにふくろをかぶせたりするのは、どうしてですか。説明しましょう。

(3) このアサガオの実験結果からどんなことがわかりますか。次の5つの言葉をすべて使って、説明しましょう。

【種子、おしべ、めしべ、花粉、先】 ※柱頭ちゆうとうという言葉は使わない。

(4) たけ子さんは、班の人から、「畑では、へちまの花は多くさいているのに、実がほとんどできていない。どうしたら実がたくさんできるかな？」とたずねられました。

実をたくさんつけさせるため、たけ子さんはどんなアドバイスをしたらいいですか。アサガオの花のつくりとのちがいははっきりさせて、「おばな」と「めばな」の言葉を使って説明しましょう。

